"EUPHORIC&CASING"人を優しく包み込む企業でありたい

株式会社 ユーカス

〒830-0207 福岡県久留米市城島町城島517-1 TEL 0942-62-2156 HP https://eucas.jp/

家具製造業 64名 従業員数 資 本 金 2,275万円

内容

理想の座り心地を求めてオリジナルソファを作り続けています

生活様式が欧米化する中、瓦製造業から事業転換し1965年に久留米市城島で応接家具製 告会社を創業。

現在は、理想の座り心地を求めて、商品企画、設計、製造まですべてを自社内で行い、オリジ ナルのソファを作り続けている。



◎ 改善成果のポイント

訪問支援回数 │ 27回 (支援期間:24カ月)

- ●商品開発プロジェクトのステップ管理化により高効率と短納期を実現
- ●CAD·CAM設計ソフトの活用で設計・製造の高効率と短納期を実現



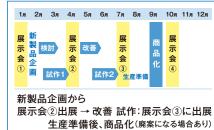


くして どんな困りごと(課題)がありましたか?

新商品を企画する際、デザイン検討部署が、営業部やお客様のニーズを把握し、年 間4回開催している展示会に試作を出すなどして、販売ニーズと顧客の反響を確認し ながら試作品を改善し、商品化に移行しています。しかし、ここ数年、試作品の半数が 廃案になるなど、スムーズに進まないのが実情でした。廃案にならずとも、試作段階で の指摘・やり直し、更に製品製造段階でのやり直しも多く発生し、結果として開発コス トがかさむ、商品化が遅れるなどの問題がありました。また、製造に必要な木枠、ウレタ ン、フェザークッション、レザー生地の型紙を設計チームが、加工プログラミング機器を 使って作成していますが、機器が古く、製造しにくい、寸法を合わせにくいなどの問題 があり、型紙を作り直すなど、こちらでも多くのやり直しが発生していました。

そこで今回、企画から商品化の業務ステップやルール、方法を見直すことで、これ らのやり直しや非効率が解消できないか、商品化のスピードアップができないかとセ ンターに相談しました。

課題(3)(5)



商品開発スケジュールイメージ(試作後廃案のケースあり)



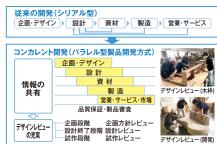
製造工程



改善の取組み内容を教えてください

まず開発企画~製品化のプロジェクト業務で実際に発生しているやり直し事例とそ の影響を振り返りました。その結果、企画段階で押さえるべきことが試作段階で指摘 されていたり、見てもらうべきトップや営業部門になかなか見てもらっていないことな どが課題と分かりました。そこで、自動車や家電で活用している「開発ステップのゲー ト管理」、「コンカレント開発」の手法を取り入れました。つまり、企画、商品開発、試作、 製品開発、製造準備、製品化の各ステップ毎にやるべき事を取り決め、企業トップや営 業部門の確認タイミングを明確にし「後出しじゃんけん」にならないようにしました。

また、従来の加工プログラミング機器は操作が難しいので、限られたスタッフしか操 作できない、材料から木枠部材を歩留まりよく効率よく加工するための適正配置プロ グラムの作成に時間がかかる、などの課題があり、対策として自動最適化機能を備え たCAD/CAMソフトを導入しました。結果、誰でもできるようになり、作業者を柔軟に 配置できるようになりました。更に、最適化機能により材料歩留まりも向上しました。



コンカレント開発



企画方針書 開発移行管理表

取組んで良くなった点を教えてください



開発ステップ管理を進め、「誰が、いつ、何を、確認・決定」を要件化し節 目管理したことで試作廃案件数を年間3件→0件、やり直し工数年間 600時間低減、開発リードタイムを約3カ月短縮することができました。 また、CAD/CAMソフトの導入でプログラム作成業務がほぼ50%に低 減、年間で72時間も短縮し、材料歩留まりも大きく改善できました。

副次効果

開発ステップ管理を導入することで他部門の業務内容を今まで以上に 相互理解できるようになり、お互いに補完するなど、相乗効果も生まれま した。その結果、営業の声を企画により多く反映できるようになるなど、よ り魅力ある商品開発につなげることができました。

また限られた設計者しかできなかった木枠設計がCAD/CAMソフトの 導入によって誰でもできるようになり要員配置が柔軟になりました。



開発ステップ管理を更に進め、開発リードタイムの短縮や商品力のさら なる向上につなげていきます。3次元CADソフト導入により試作前の検 討力向上にもチャレンジしたいと思います。



CAD/CAMソフト導入による改善

改善項目		改善前	改善後	効果
NC プログラミング 機器導入	工数	3	2	1工程削減
	時間	9 時間/回	4.5H/回	50%削減
	時間(年間)	144H	72H	72H (年間) 削減
	従事可能者	1名	3名	2名增加
開発ステップ 移行管理	不採用数	3件	0件	3件削減
	時間	600H	ОН	600H (年間) 削減
開発スケジュール 見える化	保留期間	3ヶ月	1週間	63日短縮
開発資料の削減	資料数	37	34	3件削減
		12件見直し中、2件他部門への移行検討中		
	時間(年間)	12H	ОН	12H (年間) 削減

成果のまとめ

企業様の声

過去、コンサルタント指導を受けてましたが、これまでと違い、今回 の支援は、業務プロセスに入って一緒に考え、新たな考え方、役 割、要件の形式知化など提案してもらい、業務そのものを大き く体系化するところまで寄り添って支援してもらい、大きな 成果を得ることができました。また、今回、課題に対する

アプローチの仕方を学ぶことができ たので、次の新たな課題に対して、 社内各部署と協力して取組んで

代表取締役

中島 慶子様

いきたいと思います。 株式会社ユーカス

生産性アドバイザーから一言

商品開発は、企画・設計・製造・営業の 連携が非常に重要ですが、計画的・システ ム的な運用がされていないのが通常です。 今回の取組みでは、現在の進め方を守りつつ、 開発の上流段階から各部門の意見を取り入れる

よう、プロセスの改善とシステム 化を行ったことが成果につながっ たと思います。今後も改善を継続し、 さらなる開発リードタイム短縮が出来る

ことを期待しています。

生産性アドバイザー

山下 厚

